

一般社団法人日本劇場技術者連盟
令和元年定時総会

第1号議案

平成30年度事業報告

■総会(シンポジウム&能楽堂見学会およびパーティ)

2018年5月15日 国立能楽堂 60名参加

シンポジウム パネラー 織田紘二 モデレーター 齋藤穰一

■内覧会&シンポジウム

2018年6月18日 参加人数 78名

東広株式会社 with 株式会社クレスト内覧会 三郷スタジオ

第1部 東広株式会社 黒幕、スクリーンの解説

第2部 クレスト株式会社 プロジェクションマッピング 実演

第3部 シンポジウム

株式会社東広 社長中野肇

株式会社クレスト 社長 橋本敏邦

永井久夫、長谷川祥久、齋藤穰一、齋藤工氏

モデレーター 市ヶ谷昌典

■劇場見学、歌舞伎鑑賞会

2018年7月7日(土) 国立劇場

■秋のスペシャルセミナー&納涼会 参加者 71名

2018年9月3日(月)14時～ 東京芸術劇場5階シンフォニースペースにて

セミナー講師:株式会社電通コンテンツビジネス・デザイン・センター高橋俊憲氏

モデレーター 市ヶ谷昌典

■ライブ&シアターEXPO

2018年12月5日(水)～7日(金) 来場者 1万8000名

展示会セミナー 24タイトル セミナー来場者 840名

■賀詞交換会&新春特別講演 東長崎 cafe traversaにて

2019年1月29日 参加者 44名

講師:織田紘二

■劇場技術者 認定講座、講演、シンポジウム

新宿角筈ホール 2019年2月19日(火)-20日(水) 参加者 24名

【1部】 認定講座 (2級、3級)

認定講師:千田敬、羽根川和雄、高橋三十四

【2日目2部】 講演「劇場人のヘルスケア」

講師:小曾根史代氏 (NPO 法人芸術家のくすり箱理事・事務局長)

【2日目3部】 シンポジウム「安全と安心」

パネリスト:千田敬、西山英樹氏、小曾根史代氏

モデレーター:市ヶ谷昌典

■連盟会誌発行 Vol.7、Vol.8、Vol.9 計3回発行

■ホームページでの情報発信

■会員入退会状況

平成30年度退会 個人正会員6名、法人正会員 2社

平成30年度入会 個人正会員8名、法人正会員 4社・法人賛助会員 2社

*個人会員 154名 *法人会員 54社

第2号議案

平成30年度会計報告

決 算 報 告 書

(第4期)

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

一般社団法人日本劇場技術者連盟

貸借対照表

平成31年3月31日現在

一般社団法人日本劇場技術者連盟

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	213,924	【固定負債】	341,089
現金及び預金	213,924	長期借入金	341,089
【固定資産】	56,903	負債の部合計	341,089
【有形固定資産】	56,903	純資産の部	
工具器具備品	56,903	【株主資本】	-70,262
		利益剰余金	-70,262
		その他利益剰余金繰	-70,262
		越利益剰余金	-70,262
		(うち当期純損失金額)	19,380
		純資産の部合計	-70,262
資産の部合計	270,827	負債及び純資産合計	270,827

損 益 計 算 書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

一般社団法人日本劇場技術者連盟

(単 位 : 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
会 費 収 入	1,540,000	
広 告 料 収 入	905,000	
そ の 他 の 収 入	3,301,000	
売 上 高 合 計		5,746,000
【売上原価】		
会 誌 作 成 原 価	1,223,800	
合 計	1,223,800	
売 上 原 価		1,223,800
売 上 総 利 益 金 額		4,522,200
【販売費及び一般管理費】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		4,413,887
営 業 利 益 金 額		108,313
【営業外収益】		
受 取 利 息	7	
営 業 外 収 益 合 計		7
【営業外費用】		
雑 損 失	30,000	
営 業 外 費 用 合 計		30,000
経 常 利 益 金 額 税		78,320
引 前 当 期 純 利 益 金 額 去 人 税		78,320
等		97,700
当 期 純 損 失 金 額		19,380

販売費及び一般管理費内訳書

自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月 31日

一般社団法人日本劇場技術者連盟

(単位：円)

科 目	金 額	
外 注 費	1,635,916	
接 待 交 際 費	117,737	
会 議 費	1,474,751	
旅費交通費	516,403	
通 信 費	352,343	
事 務 用 消 耗 品 費	224,221	
諸 会 費	3,500	
支 払 手 数 料	6,264	
保 険 料	1,800	
租 税 公 課	1,050	
減 価 償 却 費	56,902	
雑 費	23,000	
販売費及び一般管理費合計		4,413,887

以上のとおり報告します。平成 31 年 4 月 24 日

一般社団法人日本劇場技術者連盟

代 表 理 事 齋 藤 譲 一

第3号議案

令和元年度事業案 自：平成31年4月1日 至：令和2年3月31日

年度 事業名	2019年度
1、国際交流 産業育成 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外の舞台芸術の調査 (新規事業) ・ 芸術家、技術者国際交流事業 (新規事業) ・ 国際専門家 円卓会議異業種交流パーティ併設(1回) (継続事業) ・ 高度外国人材の活用と外国人技能実習生受入など (法人会員中心の事業協同組合)の設立を3ヵ年計画にて整備する。
2、人材育成・ 技術向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 劇場技術者認定講座(岡崎開催8/22、静岡開催2020年2月予定) ・ 劇場技術者技能保持検定(東京開催2020年3月予定) ・ ライブ&シアターにおけるプロダクションマネージャー 養成講座(全1回) ・ シンポジウム(全1回) ・ 専門家 円卓会議異業種交流パーティ併設(全1回) (新規) ・ 出版 劇場技術者ハンドブックの発行(8月) (新規)
3、普及事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内覧会&セミナー(継続)(イグス内覧会 6月末予定、他1回) ・ サイトなどで業界情報の掲載量を拡大 ・ 連盟誌10号記念号の発行(12月)・連盟誌11号の発行(3月)
4、業界発展事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・ ライブ&シアターEXPO(継続) ・ ステージアートアワード(新規)
5、福利厚生事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門事業者と連携し、会員の創造環境向上のために必要とされる内容を調査。 福利厚生サービスを計画立案する。 ・ 会員向けのお仕事啓発セミナーの開催(新規) ・ 働く会員応援プログラムの開発(新規：1年で10サービス目標)
6、地方活性事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中期目標に支部設立を据え、情報ネットワークの確立と支部設立を 連盟誌やサイトなどを活用し推進する。 ・ 地方にて、認定講座を積極的に開催する。
7、組織の基盤 づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局の人員の強化と運営ルールの整備 ・ 財源確保のための営業強化と事務局人員強化 ・ 連盟の名称変更と活動方針の見直し(*第6号議案に詳細) ・ 上記に伴うホームページ、ロゴの改定によるリデザイン&リブランディング ・ 舞台関連書籍の紹介を出版社の協力を得て連盟サイト内で行う

第4号議案

令和元年度事業予算案 自：平成31年4月1日 至：令和2年3月31日

収入の部

科目	金額	適用	備考
受取会費	¥1,000,000	個人正会員 250名 4,000円)	会員数目標 100名増
	¥1,400,000	法人正会員 70社 20,000円)	会員数目標 16社増
	¥110,000	法人賛助会員 11社 (10,000円)	現状を維持
	¥400,000	特別協賛会員 2社 200,000円)	新規
受取会費中計	¥2,910,000		
事業売上高	¥4,200,000	ライブ&シアター-EXPO、各種事業、認定講座など	
広告売上高	¥2,800,000	広告収入	
合計	¥9,910,000		

支出の部

科目	金額	適用	備考
広告宣伝費	¥120,000	ホームページ運営予算及びパンフレット作成費など	
リブランディング予算	¥700,000	ロゴ改訂50,000、ホームページ改修500,000(1/3年回)など	
諸会費	¥100,000	他団体交流の経費と諸会費	
会議費	¥590,000	総会、理事会、事業部会、編集会議、事務局会議	
接待交際費	¥200,000	謝金、中元、歳暮など	
旅費交通費	¥850,000	旅費交通費規定に基づく	
通信費	¥480,000	各種案内状、連盟誌発送費、切手など	
事務用消耗品費	¥410,000		
租税公課	¥20,000	契約書、領収書印紙代	
諸税準備金	¥340,000	法人税、消費税など	
支払手数料	¥20,000	振込、引出手数料	
会誌作成原価	¥1,550,000	会報誌10号予算1,000,000 11号予算550,000	
認定諸費用	¥150,000	1000円×150名(技術認定証発行などコスト)	
地代家賃	¥120,000	事務所運営費	
事業運営費	¥2,000,000	全事業	
外注費含む	¥2,260,000	全事業の協業会社への外注費	
合計	¥9,910,000		

第5号議案

役員改選 自：平成31年4月1日 至：令和4年3月31日

*理事役員の任期2年、監事の任期4年（任期満了に伴う改選）

昨年度にて、連盟定款の規定通り役員の任期満了を迎えましたのでご報告いたします
新年度にあたり、役員を改選いたしますので、会員の皆様の立候補、推薦をお願いいたします。
以下は、事務局提案の候補案となります。

理事候補

齋藤 譲一（重任）
伊東 正示（重任）
出井 稔師（重任）
高橋 三十四（重任）
糸日谷 智孝（重任）
市ヶ谷 昌典（重任）
石山 富士夫（重任）

西山 英樹（新任）
畑野 一恵（新任）
安藤 裕之（新任）
五十嵐 裕（新任）
今田 晴義（新任）
佐々木 剛（新任）
杉本 伸（新任）

重任候補7名 新任候補7名

監事候補

黒田 英巳（新任）
羽田野 晋嗣（新任）

新任候補 2名

事業委員

連盟活動の拡充のために、今期より事業委員制度を導入し、通年を通し、会員の皆様を中心に事業委員を募り、拡充してまいります。

*年度開始とともに、理事会の推薦により理事長の承認の上
事業委員の適宜選任して参ります。

第6号議案

団体名の変更及び連盟活動指針の改定

連盟の名称を国際劇場芸術技術連盟(仮)に変更。

舞台芸術を支える技術とそれにより達成される芸術表現双方を包括的に支援出来る公益団体に発展させる。

舞台技術は舞台芸術の一部である。舞台芸術は各人の技術の結集と観客の参加で完成する総合芸術であることと、最近の劇場芸術各種専門家の職務領域の変化と今後の予想に鑑み名称を社会情勢に合ったものへと変更する

ただし、これまでの基本活動を変更するものでなく、これまでの活動を堅持しつつ実情にあった形へと発展させるものである。

上記に伴い、活動方針の改定、理事の増員、ビジュアル面でのリブランディング、活動領域の拡大、法規変更などを今年度1年掛け順次整備する。

名称案（和名） 国際劇場芸術技術連盟

（英名） United Creators for the Performing Arts

（略名） UCPA

活動指針（案）

連盟活動の拡充に伴い、舞台に集う全ての人の発展のために、以下に連盟活動の基本7指針（案）を改訂の上、制定する。

- 1、舞台技術スタッフのスキル向上と創造環境の向上
- 2、クリエイターのスキル向上と創造環境の向上
- 3、プロダクションマネージャーの育成、確立
- 4、舞台芸術に係る国際交流推進
- 5、舞台芸術に係る者、劇場や関係機関等との連携・協働の推進
- 6、舞台芸術に関する調査研究、情報収集・共有
- 7、新たなビジネスチャンス創造の場の提供

※劇場とは、劇場法が定めるものに加え、コンサートホール、ライブスペース
イベントスペースなどを指す。（連盟定義）

・第7号議案

新会員枠の設置について

昨今の会員の参加形態の多様化に配慮し、以下の会員枠を設置したい。

特別協賛会員・・・劇場関係の業務を主軸としていない企業で
一定額の寄付や協賛金があり、議決権を有しない。

情報会員・・・インターネット、SNSなどの閲覧、メルマガの購読、
連盟誌のみの定期購読など、情報を取得する目的のみで、
連盟に加入をする会員を指す

この議案書は、議長と、理事及び監事の全員がこれに記名押印する。

※原本には記名、押印あり。